

「寺家ふるさと村を次の世代に伝えていくために」 ～六浦 勉 先生インタビュー～

令和7年1月23日、四季の家ウェルカムセンター講師
六浦 勉 先生にインタビューを行いました。
その際、伺ったお話の概要を紹介します。



【六浦先生紹介】

○四季の家

今日は長年にわたり四季の家ウェルカムセンターの講師を務めていただいている六浦先生に話を伺います。

○六浦

六浦です。ここ10年間ほど、ウェルカムセンターができてから、講師をやらせてもらっています。皆さんに少しでも自然のことを知っていただきたく、いろいろな植物、それから自然に関わる事業をやってきました。よろしくお願いします。

【寺家ふるさと村の魅力】

○四季の家

寺家ふるさと村は大都市横浜にあって、今もなおこれだけ豊かな自然が残っています。多くの市民の皆さんが散策に出かけていらっやいます。

○六浦

大きな魅力としては、この大都市横浜、そういう中に、山があり 谷戸田があるということ。地域の方がいて、生活をしてきた、そういうところですね。

残された自然がたくさんある。

植物を見ると、県内に約2000種の植物があるわけですが、この地域にはその4分の1くらいの在来植物がある。この環境の中で育ってきている。

そして少しでも皆さんに知っていただきたいのですが、この10年間活動してきたということで、今日その一部をお話しさせていただきます。

【寺家ふるさと村の現状】

○四季の家

六浦先生は、横浜市職員としてもこの地域を担当され、長きにわたりこのふるさと村と関わっていらっやいました。ここで六浦先生に、ふるさと村の現状についてお伺いいたします。

○六浦

現状ということですが、あまり前よりは変化が少ないということではちょっと安堵しています。

これだけの谷戸田が残され、自然が残され、地域に親しまれ、市民に親しまれています。この10年見てきましたけど、ウェルカムセンター事業などいろんな事業をやってきました。私なりに評価もしています。

このままなるべくいい環境のまま、残せていけたらなと思っております。

【寺家ふるさと村の課題と取組み】

○四季の家

ふるさと村を訪れた方、ふるさと村に関わった方は、誰しもこの豊かな自然を将来につなげていきたいと考えます。この自然を引き継いでいくためには、どのようなことが課題で、どのように取り組んでいったらいいのでしょうか。

○六浦

ここ10年で、山がだいぶ荒れてきたのではないかと、植物数が減っているのではないかと、絶滅した植物もあるのかなと思っています。

原因として、やはり気候変動、高温化ということもある。ナラ枯れ病で多くの木が枯れました。今まで管理が行き届かなかったのか、アズマネザサやマダケが結構入り込んでいます。そのため植生が崩れてくる。植物個体自体も少なくなっているということが懸念をされます。

今までどおり、地権者の方々、地域の方々が、このふるさと村について、ご理解、ご協力いただくということが重要と思います。

そして市民の方々が山林、谷戸田、付随する水路、水源地、そういうものを保全していこうと考えていただくことが大事です。山林の管理について、市民が関わって、アズマネザサとか、うまく淘汰していけるとよいと思います。

それから、水田の周りには植物がたくさん生えています。それをうまく管理をしていくことによって環境が守れます。農耕により、自然を守っていけます。環境保全型の農業を推進していくということ、その辺が大きな課題です。

ふるさと村は町田市と接しています。この一帯を保全していくために、情報交換をしていくことも大切なことかなと思っています。

今後の課題と期待ということで述べさせていただきました。

【六浦先生からのメッセージ】

○四季の家

ここで六浦先生から、市民の皆さん、ふるさと村を訪れる皆さん市民に、伝えたいこと、お願いしたいことなどメッセージをお願いします。

○六浦

皆さん、楽しんでいただくのは結構なことです。

しかしながら、こちらには農家の方々がいて農業をやられています。大切な農地ですのでやたらと、あぜに入ったりしてはいけません。それから水路には様々な生物が実はいます。それをやたら持ち出さないように。

また、植生を守っていくために、いらなくなったプランターなどの土を自然の中に入れていくとかそういうことは決してやっていただきたくないということです。帰化植物、そういう植物が増えないようにしていきたい。それが、自然を守ることになるということになります。

それから、市民の方々もここで水田をやったりしています。今までもお願いをしてきましたが、自然の情報や保全の知識を得たうえで、草の刈りをしていただきたいと思います。あまり植物に影響

がないような管理方法、夏草刈りをなるべく少なくするなど、それから帰化植物をなるべく淘汰していくというような活動ですね。

自分たちの農業環境を守っていけたらいいのかなと思っております。

やたら都市部の植物、帰化植物、そういうものがないような

自然がそのまま、今までどおりに残るようなことに留意していただければと思っています。

○四季の家

六浦先生のお話にもナーに関するものが何点かあったかと思えます。

四季の家を訪れる方、ふるさと村を訪れる方、皆さんごみは持ち帰っていただいております。

また、愛犬を散歩に連れてこられる方、よくナーを守っていただいております。

おかげをもちまして、きれいで過ごしやすい気持ちの良いふるさと村が維持できているかなと思っています。

もう一つお願いがあります。

ふるさと村にお出かけの際には、できるだけ公共交通機関でお出かけいただきたいと思えます。四季の家には駐車場はありますが、数が限られております。

あふれて路上駐車となりますと、

農作業の妨げとなり、また歩行の方の安全にも影響します。景観としてもそぐわないかと思えます。

引き続き、皆様のご協力、ご理解をお願いしたいと思います。

今日は、六浦先生をお迎えして、寺家ふるさと村を次の世代に伝えていくといったテーマでお話をうかがってまいりました。

六浦先生、どうもありがとうございました。

<よく見られる帰化植物>



アレチヌスビトハギ



セイタカアワダチソウ



ブタクサ

<植物に影響が少ない夏草刈りの仕方>

